

案内

STUDENT WEEK

今週はステューデント・ウィークとして全ての礼拝で、学生の中のクリスチャンの方々に証詞をしていただきます。証詞とは、その人がいつどのようにキリスト教信仰を持つようになったのか、キリスト教と出会う前と後では生き方がどのように変化したのかなどを、自分の言葉で語って伝えることです。

今年度は、以下のキリスト教推薦入学生の会、青山みどり会(教育人間科学部)、ピスティス(経済学部)、イクサス会(経営学部)、エルピス(国際政治経済学部)、エクレシア(総合文化政策学部)、スタウロス(社会情報学部)に所属する学生と、理工学部のクリスチャンの大学院生2名の計11名が証詞をします。

また、2名のオルガニスト養成講座受講生に奏樂の奉仕をしていただきます。

青山学院クリスマス・ツリー点火祭 ～降誕を待ち望む礼拝～

イエス・キリストの降誕を待望する「待降節」を期して礼拝を行い、各キャンパスのクリスマス・ツリーに灯をともします。当日は授業を短縮して行います。

日時 11月29日(金) 青山キャンパス 17時50分～18時30分
相模原キャンパス 16時40分～17時20分

Art・クリスマス・Aoyama

会期 11月26日(火)～12月18日(水)

テーマ 「インマヌエル」

内容 本学院の幼稚園から大学院までの園児・児童・生徒・学生たちによるクリスマスにちなんで美術作品の展示他、スタンプラリーやもみの木の飾りつけなどもあります。

展示場所 短大ギャラリー、ガウチャー記念礼拝堂ロビー、本部ロビー 他。

Wesley Hall News No.113 が発行されました。

各キャンパス宗教センター、礼拝堂で配布しています。ぜひお読み下さい。

- 礼拝堂は、神に礼拝を捧げるための神聖な場所です。堂内では、私語を慎み、静粛を保つよう心がけて下さい。
- 飲食物の持ち込みは禁止です。携帯電話の電源は必ず切ってください。礼拝堂内では脱帽して下さい。
- 礼拝の中で、「祈祷」の時には、目を閉じ、手を組み、頭を垂れ、祈りにふさわしい姿勢を取り、祈る人の言葉に集中して下さい。
- 礼拝とは、前奏、讃美歌、聖書朗読、説教、祈り、後奏までを含んだものを言います。説教が終わったとたんに退席するなど、礼拝途中での出入りは慎んで下さい。

青山学院大学礼拝週報

2013. 11.25.

神の国節第27週

No. 26

ステューデント・ウィーク

聖書の人々 [25]

「アモス」 Amos

アモスは紀元前8世紀中葉に北王国イスラエルに登場した預言者です。そのころイスラエルは経済的繁栄の只中にありました。しかし、その一方で貧富の格差が広がり、貧しい人々は指導者層によって虐げられていました。その「社会正義」の欠如を憂い、アモスはイスラエルに対して厳しい裁きを告げました。「わが民イスラエルに最後が来た」(8:2) という神の言葉はその典型です。

しかし、アモスは一方的に厳しい言葉を語った預言者ではありません。それは次の言葉に示されています。「まことに、主はイスラエルの家にこう言われる。／わたしを求めよ、そして生きよ。」(5:4)。この言葉は「善を求めよ、悪を求めな」(5:14) とも言い換えられています。神を求め、正義を行うことをひたすら訴えかけたのが預言者アモスでした。「正義を洪水のように／恵みの業を大河のように／尽きることなく流れさせよ。」(5:24) という言葉はキング牧師がしばしば引用した言葉としても知られています。



今年度主題聖句

人にしてもらいたいと思うことは何でも、

あなたがたも人にしなさい。

(マタイによる福音書 第7章12節)